

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念は法人統一であるため、運営方針を地域の中で今までのように暮らすことを基本とした考え方を基に作っている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝礼時に唱和している。 今年目標として、運営方針を再確認し、意味を深く考え行動を振り返る事としている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>入居時に必ず理念及び運営方針の説明を行い、家族会等でも再確認している。 また、玄関や桜の里内に掲示し、来所された方々にも見ていただけるようにしている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>ご近所の独居の方などと、前を通られるときに会話を行うようにしており、何かあったら夜中でも気軽に電話していただけるよう、お互いの電話番号を教えあっている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>母体が精神病院であるためか、どうしても理解していただけない方もおられるが、毎日の挨拶や、年末の餅つきの餅配りなど、小さいことを重ねて関係作りに努めている。 地域の夏祭り等は必ず参加している。</p>	<p>○ 自治会長や公民館長など、ようやく運営推進会議への参加がかない、地域活動の幅が少しずつ広がってきている。また今後、多施設との交流会も予定している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の在宅高齢者サービス担当者会議のメンバーとなり、在宅高齢者やご家族の支援についても意見の提案等を行っている。</p>	<p>○</p>	<p>夏祭りやバザーなど、施設を開放した取り組みを模索中</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果を運営推進会議・家族会・チーフ会議・全体会議等の全てにおいて議題に上げ、常に話し合える状態を作り、改善に取り組む体制を作っている。</p>		
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、外部評価の結果、家族会、全体会議、勉強会、避難訓練などあらゆる事を報告し、参加されている皆さんのご意見やご提案を、全ての会議に反映させ、サービスの向上に努めている。</p>		
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>毎月社協や市町村、地域包括などのメンバーが参加する居宅介護支援連絡協議会や、高齢者サービス担当者会議に参加し、情報交換や、勉強会等を行っている。</p>		
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>居宅介護支援連絡協議会での勉強会の参加や、運営推進会議での地域包括支援センターの方の講義など、何度も各スタッフが参加し、伝達講習を行っている。また必要であれば、ご家族へ成年後見制度を通して様々な支援の提案を行っている。</p>		
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全体会議を通して勉強会を行い、言葉による無意識の虐待などないか再確認している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の相談時から契約時まで時間と回数を重ね、理解や納得していただけるように努めている。また契約内容を家族会の議題に上げ、再検討や再確認を行っている。</p>	○	<p>入居者の状態の変化に伴い、契約書に記載してない事例などへの対応が増えているため、運営推進会議や家族会を通して契約書の変更を進めていきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の方にも家族会や運営推進会議に参加していただき発言していただいている。</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ケアプランの更新時はもちろん、日頃よりご家族とは頻繁に連絡を取り、その都度日常の状態や、買い物の許可、病状の相談や報告等を行っている。また年に数回桜の里便りも発行している。</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見が出た場合、すぐにチーフ・ケアマネとミーティングを行い対策をとる体制にある。通常小さいことでも判断が難しい事は、地域包括や広域連合に相談している。</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃より怠たなく意見や提案を言える関係作りを心がけている。また、チーフ等に挙げられた意見は、必要であればチーフ会議で対応策を検討している。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者、チーフ、ケアマネ等で調整や対応を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>仕事に対してやりがいを見出せるような声掛けと、スタッフの努力に対する評価などを心がけ、管理者、チーフとスタッフ間のコミュニケーションに努めている。</p>	○	<p>ご家族の理解に対する対応が難しい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用に際して制約などは一切設けていない。様々な年齢層や性別により、幅広くきめ細やかな配慮や対応が可能になると考えている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権教育等の講習会へスタッフが参加し、伝達講習している。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全てのスタッフが、満遍なく法人内外の研修へ参加する機会を設けており、それを全体会議や勉強会で伝達講習している。</p>		
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>居宅介護支援連絡協議会やグループホーム協議会への参加により、この地域の医療・福祉関係者との交流の機会を頻回にさせてもらうことができている。</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>親睦会や休憩時間の工夫など取り組んでみているが、未だに模索中である。また、スタッフ一人ひとりの仕事に対する評価や感謝を常に心がけるようにしているが、タイミングなど難しい。環境整備や給与面などで反映させられない。</p>	○	<p>ストレスや不満の芽を拾い上げやすいような人間関係作り</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
<p>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	○	<p>男性入居者は馴染みの事柄が少ない方が多く、その方々の馴染みの関係探しに今後、力を入れていきたい。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族及び前事業所や、かかりつけ医の情報提供書等による情報収集を行っている。	○	独居者や身近に家族がいない高齢者世帯では、情報収集が困難な為、新たにアセスメント表(思い出シート)を作成し、日々の関わりの中から少しずつ聞き取っていく。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者一人ひとりの状態の変化等は、介護記録のサービス担当者会議欄に問題提起し、常に職員間で相談し合う体制を作っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当がケアプランを作成し、ケアマネジャーが統括している。家族とは面会時、電話、及びサービス担当者会議等で要望や意向等を伺っている。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院等状況の変化に応じ、アセスメントをその都度作成し、その上でサービス担当者会議を開き、介護計画の見直し、変更を行っている。		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に多くの情報(個別活動、会議、報告等)を記入できる様にしており、常に活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体病院のリハビリの利用希望が多く対応しているが、それ以外には今のところ対応できていない。	○	事業所の多機能というものが無いため広くご家族の希望等は相談に応じて検討していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>シルバー人材やボランティアの方を受け入れている。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>母体病院のリハビリを利用している。その他のサービスは今のところ利用していない。</p>	<p>○ 家族からの希望があり、介護保険外でも利用できるサービスがあれば、今後利用していきたい。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>定期的に会議に出席している。分からない事は、電話で質問したり、助言を頂いている。</p>	
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診の他、必要時に受診できる体制ではあるが、夜間の対応が困難である為、主に急患センターを利用している。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>母体病院に専門医がいる。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>各ユニットに正看護師がおり、勤務時にはそれまでの状況を報告し、健康管理している。</p>	<p>○ 母体病院との連携が不十分であり、改善の余地がある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後家族を交えて明確な方針を決める必要がある。
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりに合わせ、自己決定及び選択して頂ける様、声かけを行っている。必ず、入居者が納得された上で各支援を行っている。</p>	
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴は、本人に入りたい曜日や頻度を決定して頂いている。食事やおやつも、その都度声かけし、希望あれば時間をずらす等配慮している。外へ出たい等の希望あれば、その都度、散歩やドライブ等の支援も行っている。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>行事には化粧したり、マニキュアを塗ったり、散髪等にお連れしたりと、身だしなみやお洒落ができる様支援している。</p>	
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>配膳位置や彩り、一人ひとりの食事形態に気をつけて食事の提供を行っている。盛り付け等は入居者と共に行い、食への意識を持って頂ける様支援している。</p>	<p>○ 今後、調理等も入居者と行っていける様支援していきたい。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせて、おやつを買いに行き提供等工夫している。また、欲しい物があれば買物へお連れしている。</p>	<p>○ 入居者の状態をみて、今後は、お酒を楽しんで頂ける様な機会を作っていきたい。</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居後、一定期間は排尿チェック表にて排尿パターンを把握し、一人ひとりに合った声かけ、介助を行っている。また、排泄の失敗があっても、入居者の尊厳を傷つけない様、声かけ、対応を行っている。必要に応じ、ウォッシュレットを使用したり、下用タオルにて清拭を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>〇入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は、入居者に決めて頂き、その都度、入居者に体調等を聞き、一人ひとりに合った支援を行っている。また、入浴剤等を使用し、楽しみながら入浴して頂ける様支援している。</p>	
60	<p>〇安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>消灯時間は決めず、一人ひとり好きな時間で休んで頂いている。日中も、一人ひとりの身体状況や希望に合わせて、休息して頂いている。眠れない等の訴えあれば、職員と一緒にお茶しながら会話し、安心して頂ける様支援している。</p>	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>〇役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>希望や状況に合わせて、集団及び個人の場合を設け、一人ひとりに合った役割、楽しみを提供している。</p>	
62	<p>〇お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理は、当方にて行っているが、本人が使いたい時や、欲しい物がある際は、いつでも一緒に買物へ行き、購入して頂ける様支援している。</p>	
63	<p>〇日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の希望や体調、状況に応じ、散歩や買物、ドライブ等にお連れしている。必要に応じ、家族にも協力依頼を行っている。</p>	
64	<p>〇普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>自宅や遠方への旅行に行きたい等の希望があれば、家族へ機会を作って頂ける様働きかけている。また、行きたい所で、当方にて対応できる範囲内ではドライブ等にてお連れしている。</p>	<p>〇 街への外出も、今後支援していきたい。公共機関も使用し、社会と関わりのある外出を目指したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>本人の希望あれば、電話や手紙、FAX等、いつでもして頂ける様対応している。</p>		
66	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>いつでも訪問して頂ける様、家族等へ積極的に働きかけている。希望あれば、一緒に食事をして頂いたり、居室での宿泊も受け入れている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
67	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>資料を参考にし、職員間で話し合い、身体拘束についての意見を出し合っている。また、身体拘束をしない為に、見守りを強化したり、センサーを使用して小さな動きにも対応できる様にしている。</p>		
68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>入職時のオリエンテーションで鍵についての勉強を行っている。鍵をかける事での閉鎖感や不安を減少させ、安全面に配慮し、鍵をかけないケアに取り組んでいる。入居者が外に出られても、後ろから付いて行ったり、所在確認を行いながら、一人ひとりに合わせ対応している。</p>		
69	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>一人ひとりの人権を尊重し、介入している。居室のドアの窓ガラスが一部透明ガラスの為、そこからそと中の様子を伺ったり、トイレの電気にセンサーを使用し、夜間の様子も把握している。常に物音や動きに用心し、プライバシーに配慮しながら、安全にも取り組んでいる。</p>		
70	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>何が危険で、どのように使用、管理すればよいか皆で話し合い、保管している。危険物品の使用時は、必ず職員が見守り、未使用時は、所定の保管場所に戻す様徹底している。また、毎日、チェック表を用いて数量チェックを行い、紛失防止に努めている。個人の物は、一人ひとりの状態に応じ、入居時に本人、家族と危険性について検討し、必要に応じて当方にて管理している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>〇便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>毎日、体操や散歩をして頂いている。また、野菜や水分を多く摂って頂く様声かけ、促したり、一日一杯は牛乳を提供し、便秘予防に努めている。</p>		
78	<p>〇口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>眠前に必ず口腔ケアを実施している。義歯の方については、毎食後うがい・義歯洗浄を行っている。また、定期的に提携歯科に往診して頂き、口腔内状態、清潔保持に努めている。</p>	〇	今後、義歯以外の方の口腔ケアの頻度を増やせる様声かけ、促していく。
79	<p>〇栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>一人ひとりの水分摂取量、食事量を毎日チェックし、その方々に応じた声かけ、促しを行っている。また、定期的に母体病院の栄養士とも連携をとり、各人に合った栄養摂取に努めている。</p>		
80	<p>〇感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>毎日、定期的に換気を行っている。また、週2回はフロア内の床、手すり等をハイター消毒している。入居者には、毎食前に手洗い、並びに、緑茶にてうがいをして頂いている。職員は、勤務時は規定のユニフォームに着替え、感染予防に努めている。</p>		
81	<p>〇食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> <p>配食サービス業者を利用し、毎日、新鮮な食材を配達してもらい、調理している。食器類も、食器洗浄機を使用し、清潔保持に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>〇安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> <p>玄関まわりや庭に花を植え、親しみやすい出入り口作りを行っている。また、飲料の自動販売機やベンチを置き、近隣の方にも気軽に立ち寄って頂ける様工夫している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
		41	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の生活の中で、毎日、体操やレクリエーション等の活動の場を積極的に提供できる様努めている。また、全入居者に、一日一回は笑顔になって頂ける様、職員一同でコミュニケーションに重点を置き、接している。家庭的な環境の中で生活して頂ける様、家に近い雰囲気作りに職員一同で励んでいる。